

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成24年10月25日(2012.10.25)

【公開番号】特開2011-59311(P2011-59311A)

【公開日】平成23年3月24日(2011.3.24)

【年通号数】公開・登録公報2011-012

【出願番号】特願2009-208012(P2009-208012)

【国際特許分類】

G 03 G 15/02 (2006.01)

G 03 G 15/06 (2006.01)

G 03 G 21/14 (2006.01)

G 03 G 21/00 (2006.01)

【F I】

G 03 G 15/02 102

G 03 G 15/06 101

G 03 G 21/00 372

G 03 G 21/00 398

【手続補正書】

【提出日】平成24年9月6日(2012.9.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

直流電圧に交流電圧を重畠させて生成された帯電バイアスが印加された帯電部材を像担持体に接触させて前記像担持体の表面を帯電する帯電手段と、

前記帯電手段により帯電された前記像担持体の表面に静電潜像を形成する形成手段と、

前記形成手段により形成された前記像担持体の表面の静電潜像を、直流電圧に交流電圧を重畠させて生成された現像バイアスを用いて現像する現像手段と、

前記現像バイアスの交流周波数を前記帯電バイアスの交流周波数の整数倍の周波数比に維持しつつ、前記帯電バイアスの交流周波数を変動させる制御を行う制御手段と、  
を有することを特徴とする画像形成装置。

【請求項2】

前記制御手段は、前記帯電バイアスの交流周波数としてあらかじめ定められた周波数である中心周波数からの周波数変動量、及び周波数変動を行う時間間隔を決定し、画像形成時に前記時間間隔にて前記帯電バイアスの交流周波数を前記中心周波数から前記周波数変動量の範囲で変動させることを特徴とする請求項1に記載の画像形成装置。

【請求項3】

前記像担持体における前記現像手段との接触位置において印加される前記現像バイアスの交流周波数は、前記接触位置において印加された前記帯電バイアスの交流周波数の整数倍であることを特徴とする請求項1または2に記載の画像形成装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【 0 0 1 1 】

直流電圧に交流電圧を重畠させて生成された帯電バイアスが印加された帯電部材を像担持体に接触させて前記像担持体の表面を帯電する帯電手段と、前記帯電手段により帯電された前記像担持体の表面に静電潜像を形成する形成手段と、前記形成手段により形成された前記像担持体の表面の静電潜像を、直流電圧に交流電圧を重畠させて生成された現像バイアスを用いて現像する現像手段と、前記現像バイアスの交流周波数を前記帯電バイアスの交流周波数の整数倍の周波数比に維持しつつ、前記帯電バイアスの交流周波数を変動させる制御を行う制御手段と、を有することを特徴とする画像形成装置。